

**製品名:** リン酸化 IKB アルファ (Ser32) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84865

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 36 kDa

**抗原情報**

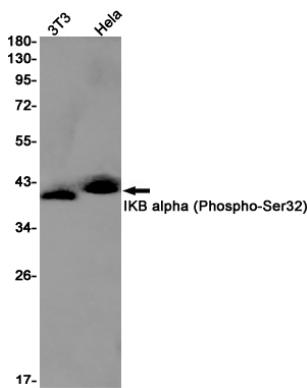
遺伝子名	Phospho-IKB alpha (Ser32)
別名	NFKBIA; IKBA; MAD3; NFKBI; NF-kappa-B inhibitor alpha; I-kappa-B-alpha; Ikb-alpha; IkkappaBalpha; Major histocompatibility complex enhancer-binding protein MAD3
遺伝子 ID	4792.0
SwissProt ID	P25963
免疫原	ヒト IKB アルファの Ser32 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

**背景**

NFKB1 (MIM 164011) または NFKB2 (MIM 164012) は、REL (MIM 164910)、RELA (MIM 164014)、または RELB (MIM 604758) と結合して NFKB 複合体を形成します。NFKB 複合体は I- $\kappa$ B タンパク質 (NFKBIA または NFKBIB、MIM 604495) によって阻害され、NF- $\kappa$ B は細胞質内に捕捉されて不活性化されます。

## 研究分野

## 画像データ



リン酸化 IKB アルファ (Ser32) 抗体を使用した 3T3、HeLa 溶解物中の IKB アルファ (リン酸化 Ser32) のウェスタンブロット分析。